

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 6セメスター 月・1	助産診断学	佐藤 喜根子	選択	2
授業題目	診断が全ての基本：妊娠期・分娩期・産褥期・新生児の診断に向けて			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
〔授業科目の目的〕 妊娠期・分娩期・産褥期の各期にある女性の経過診断と新生児期の診断が出来るようになる。 妊娠期は正常な妊娠経過と異常妊娠の判断が出来るようになること、分娩期は正常の経過と異常の に対する助産診断の原理を理解すること。また早期新生児の診断も含めて、第一次救急の判断と対応 についても理解する。 また、産褥期の診断は、正常な産褥経過の確認のためのリスクスクリーニングが出来、助産過程が展 開できるようにする。				
授業計画				
第1回	妊娠期の助産診断	その	(妊娠確定と経過確認：正常と異常診断)	
第2回	〃	その	〃	
第3回	〃	その	〃	
第4回	〃	その	〃	
第5回	分娩期の助産診断	その	(分娩の経過確認とリスクスクリーニング)	
第6回	〃	その	〃	
第7回	〃	その	〃	
第8回	〃	その	〃	
第9回	〃	その	〃	
第10回	早期新生児の助産診断	その	(新生児の生理と新生児によく見られる正常・異常所見)	
第11回	〃	その	(出生から一週間の観察ポイント)	
第12回	産褥期の助産診断	その	(産褥期の経過確認と産褥期の異常)	
第13回	〃	その	〃	
第14回	〃	その	〃	
第15回	試験			
成績評価の方法及び基準				
試験・講義中に科したレポート，出席状況を加味して総合的に評価します。				
教科書・参考書				
教科書：基礎助産学「助産学診断・技術学」医学書院 基礎助産学「助産学診断・技術学」医学書院 参考書：助産学大系「助産診断・技術学 ～」日本看護協会出版会				